「文学国語」シラバス

学科	普通科	学年	３年	類型	Ⅰ・Ⅱ	組	１・２組	単位数	２
使用教科書	探求　文学国語（桐原書店）								
副教材等	大学入試に出た核心漢字 2500+語彙 1000（尚文出版） カラー版新国語便覧（第一学習社）								

1　学習の到達目標

①　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ②　深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ③　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2　学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を５段階の評定に総括する。

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿
思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の 各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿
主体的に 学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	⑴⑵⑶⑷⑸

評価方法	主な評価項目
学習状況の観察	⑴　グループワーク等での対話への取組　⑵発問に対する応答
言語活動の観察	⑵　言語活動への参加状況　⑷学びの関連付け、活用への取組
課題などの提出状況	⑸リフレクションシートの内容　⑹長期休業中の課題　⑺日々の課題
発表・報告	⑻ポートフォリオ　⑼プレゼンテーション
ペーパーテスト	⑽定期テスト　⑾校内模試　⑿小テスト

3　学習の計画

学期	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い	評価項目
一学期	愛のサーカス 少年という名のメカ	・巧みに構築された作品世界を味わいながら、その根底に配置された寓意や主題を読み取る。また、複数の小説を読み比べ、共通するテーマについて自身の考えをさらに深める。	⑺
	詩人のふるさと	・引用文の用いられ方に注意しながら、評論の内容を的確に捉えるとともに、後年の作品改変の是非について、筆者の考えを踏まえたうえで自身の考えをまとめる。	⑼
	檸檬	・登場人物の行動や心理の変化を丁寧に読み取りながら、人間存在に対する認識を深める。また、小説世界を、作品が成立した時代背景を踏まえて理解しようとする態度を養う。	⑻
	バックストローク	・登場人物の心情や関係性の変化を丁寧に読み取りながら、現代の家族関係について考えを深める。また、作者が超現実的な描写を用いて表現しようとしたことの意図を考える。	⑼
	客ぎらい	・自在な筆致で書かれた随想を読んで、筆者のものの見方・考え方を理解するまた、筆者が用いる表現手法を参考にしながら、自身でも随想(エッセイ)の執筆に取り組む。	⑺⑻
二学期	変身	・翻訳小説を読んで、海外の作品世界を味わいながら、人間存在の不条理について考えを深める。	⑺⑼
	「サヨナラ」ダケガ人生ダ	・引用文の用いられ方に注意しながら、評論の内容を的確に捉えるとともに、翻訳という営みが伴う創作性について、他の翻訳の実例もふまえながら自身の考えを深める。	⑺⑻
	短歌十首 俳句七句	・短歌・俳句の奥深い世界に分け入り、各作品に見られる表現の妙を味わうとともに、複数の作品が組み合わせ方によって新たな力を生み出すことを体感する。	⑻
	参加する観客ー映画の「意味」	・引用文の用いられ方に注意しながら、評論の内容を的確に捉えるとともに、やや高度な学説について、文学作品や映像作品などの具体例も踏まえながら理解を深める。	⑼
三学期	舞姫 短編小説を書く	・擬古文を用いた近代小説を読み、小説の多様な表現形式に触れるとともに、背景にある時代や文化の状況も踏まえて作品を理解する。また、本科目での学習のまとめとして、短編小説の創作に取り組む。	⑺⑼

備考　⑴⑵⑶⑷⑸⑽⑾⑿については、全ての単元において評価項目として用いる。